

各 位

上場会社名	東京貴宝株式会社
代表者	代表取締役社長 中川 千秋
(コード番号)	7597)
問合せ先責任者	取締役経営統括副本部長 染 未良生
(TEL)	03-3834-6261)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ平成22年5月18日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,669	164	144	140	31.84
今回修正予想(B)	6,261	125	63	130	29.58
増減額(B-A)	△407	△39	△81	△10	
増減率(%)	△6.1	△23.9	△56.4	△7.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,051	△661	△698	△841	△190.17

修正の理由

当事業年度におけるわが国経済は、中国などの新興国の経済成長を背景に輸出企業の業績が好調に推移するなど緩やかながら企業収益は回復基調にありました。しかしながら、所得環境についてはいまだに厳しい状況にあり、急激な円高の進行、デフレの持続、さらに年度末の本年3月11日に発生した東日本大震災による国内経済への影響は計り知れないものがあり、一層不透明な状況となりました。

当社は、このような状況にあって、効率化経営の推進に努め、売上の拡大を求めず収益の確保に全力を挙げてまいりました。売上高につきましては第3四半期まではほぼ予想通りに推移いたしましたが、第4四半期の2月及び3月に売上が低迷し若干予想を下回りました。営業利益につきましては粗利益率が予想を下回ったことにより予想を下回りました。経常利益につきましては、不動産賃貸収入の落ち込みと為替差損の発生により予想を大きく下回りました。当期純利益につきましては、有休不動産の売却に伴う特別利益を計上することができましたが、固定資産除却損等の特別損失も発生したため、若干予想を下回る結果となりました。

以 上